

広報



2004
平成16年
9月号

きょうたんご

vol.6



—風蘭の館—

風蘭の里まつり～そば喰い競争～

おそばは おいしいけど
もう入らない～！！

主な内容

- ◆京丹後市合併記念式典を挙
- ◆児童医療費助成の範囲を拡大
- ◆京丹後市消防操法競技大会
- ◆「産・学・官」協同で丹後あじわいの郷に「ウッドデッキ」を設置

市民みなさんと一体となったまちづくり 京丹後市の誕生を祝い 合併記念式典



新生「京丹後市」の誕生を祝う「京丹後市合併記念式典」を、「合併調印式」から一年となる八月十一日に、京都府丹後文化会館（峰山町杉谷）で行い、合併の喜びをかみしめました。

午後一時四十五分に始まった式典には、総務大臣の代理として久元総務省自治行政局長や佐村京都府副知事、近隣市町長、各界の代表など約六百人が出席。

式典は、花柳流三風会（はなやぎりゆうさんふうかい・主宰 花柳三風さん）の花柳風圭（ふうけい）さんと花柳杏風（きょうふう）さんによる、慶びを表す儀式舞踊「三番叟（さんぼそう）」の優雅な日本舞踊で開幕しました。

国歌斉唱に続き、中山市長が「どんな人でも、一人ひとりが、一人残らずかけがえのない存在であり、宝です。市民のみなさん一人ひとりが大切にされ、そして、それぞれが支えあい、生かしあつて、そして高めあつて生きる、いわば「調和と発展の『まほろばの里』」づくり、この京丹後市に住んでいて、日本一とも思えるほど、喜びややすらぎにあふれる、そんな里づくり、まちづくりを、市民のみなさんと一緒になつて創り築きあげていきましょう。課題は、いつか喜びへと代わります。必ず丹後は、この京丹後市は、輝き始めます。ともに心を合わせて夢や希望に

対し、敬意と感謝を申し上げます。このようにして誕生しました京丹後市は、人口約六万五千人、面積約五〇〇平方キロメートルの京都府内十三番目の市となりました。本市は、鳴き砂の琴引浜に代表される白砂青松の海岸線、府内最大級のブナ林などの豊かな観光と自然環境に恵まれたまちであります。また、「古代丹後王国」の繁栄をほうふつとさせ、元都としての一面を想像させる多くの歴史遺産が確認されています。加えて、我が国最古の「羽衣伝説」や「浦島太郎」などのロマンあふれる伝説も今に伝えられております。これらの豊かな自然・歴史・文化のめぐみを市民の暮らしに活かし、新市建設計画の「スローガン」であります「ひとみず みどり 歴史と文化が織りなす交流のまち」の実現を目指して、新しい一歩を踏み出したところでございます。今回、「未来の京丹後市」をテーマに市内の小・中学生のみなさんから募集した「絵画・作文コンテスト」には、合計で千六百点を超える多くの力作が寄せられました。どの作品からも京丹後市の美しい自然や素晴らしい歴史を大切にしながら、これからも市民が住み続けた



（故）相見幸三さんの表彰状は、奥さんの相見美子さん、長男の裕孝さんに手渡されました

あふれた歩みを、喜びの心を胸に、少しずつ、そして着実に歩み続けていきましょう」と式辞。また、来賓の方々からはお祝いとともに、あふれんばかりの可能性を秘めた、新生「京丹後市」のさらなる発展を期待する言葉が贈られました。

続いて、「京丹後市」誕生の礎を築いてこられた旧六町の町長六人と旧町議会議長十二人、合併協議会の初代会長としてご尽力いただいた、旧丹後町長の故相見幸三さん、六町の合併に多大な貢献をいただいた社団法人峰山青年会議所の方々に「市町村合併功労者総務大臣表彰」として、久元総務省自治行政局長から表彰状が手渡されました。

また、永年にわたり町長として、地方自治の発展に大きく貢献いただいた四人の旧町長に、中山市長から「自治功労者表彰」として表彰状を授与。一人ひとりと固い握手が交わされ、京丹後市の発展を強く誓いました。



花柳風圭さんと花柳杏風さんによる、優雅な日本舞踊で開幕

次に、京丹後市の誕生を記念して、市内の小・中学生から募集した「未来の京丹後市」をテーマとした「絵画・作文コンテスト」の入賞者を表彰。作文の部で市長賞に輝いた、井上侑子さん（高龍中学校三年生）と、教育長賞の小北志織さん（峰山中学校三年生）が、市民のみなさんが住み続けたいと思えるまちづくりをイメージした豊かな感性が伝わってくる作文を朗読されました。

式典終了後に行つた記念講演会では、京都府立大学の門脇禎二名誉教授が「今後の地域個性を考える『丹後の風土と日本文化から』」をテーマに講演。「豊かな歴史と風土に培われてきた京丹後市に、さらに新たなものを取り入れ、ますます発展することを期待してまいります」と京丹後市を想う熱い気持ちを話されました。

市長式辞

調和と発展の『まほろばの里』づくり

京丹後市長 中山 泰

京丹後市合併記念式典を挙げるにあたり、一言ごあいさつを申し上げます。

まずもつて、この間、六町合併に向けてご指導、ご鞭撻をいただきました京都府や国、熱心なご議論、多大なご尽力をいただきました旧六町の町長様をはじめ、協議会委員の皆様、そして、温かいご理解とご支援を賜りました住民の皆様、心から感謝を申し上げます。

最初に、峰山町、大宮町、網野町、丹後町、弥栄町および久美浜町の六町が合併し、京丹後市誕生に至つた経過に触れたいと思います。

地方自治体を取りまく大変厳しい状況の中、丹後六町連絡協議会会長の故相見丹後町長、旧町の町長を中心に法定合併協議会が設置されましたのが、平成十四年四月でした。

この合併協議会におきまして、未来に夢の持てる輝くまちづくりに向けて協議を重ね、平成十四年四月から平成十五年七月までの間に、十四回の協議会、合計七十三回の小委員会を開催し、終始、慎重かつ積極的

なご議論をいただきました。そして新市建設計画を含め、九百二十二項目の協定項目全てをご確認され、合併の最終確認をいただき、ちょうど一年前の平成十五年八月十一日に合併協定の調印に至りまして、本年四月一日に新生京丹後市が誕生いたしました。

旧六町の町長におかれましては、合併協議会の中心的役割を果たされ、京丹後市誕生にあつた礎を築いていただき、見事に六町合併に導かれました。旧六町議会議長の皆様は、議員に関する合併特例を採用しないという当時では全国でも初めての英断をされるなど、全国的にも高い評価が届いているところであり、峰山青年会議所には「丹後は一つ」のスローガンのもとに六町合併の世論を喚起され、また、特に合併協議会の初代会長であり、また、正に心血を注がれ、この強い命を吹き込んでいただき

ました。皆様の深甚なるご功績

に對し、敬意と感謝を申し上げます。このようにして誕生しました

京丹後市は、人口約六万五千人、面積約五〇〇平方キロメートルの京都府内十三番目の市

となりました。本市は、鳴き砂の琴引浜に代表される白砂青松の海岸線、府内最大級のブナ林などの豊かな観光と自然環境に恵まれた

まちであります。また、「古代丹後王国」の繁栄をほうふつとさせ、元都としての一面を想像させる多くの歴史遺産が確認されています。

加えて、我が国最古の「羽衣伝説」や「浦島太郎」などのロマンあふれる伝説も今に伝えられております。これらの豊かな自然・歴史・文化のめぐみを市民の暮らしに活かし、新市建設計画の「スローガン」であります「ひとみず みどり 歴史と文化が織りなす交流のまち」の実現を目指して、新しい一歩を踏み出したところでございます。

今回、「未来の京丹後市」をテーマに市内の小・中学生のみなさんから募集した「絵画・作文コンテスト」には、合計で千六百点を超える多くの力作が寄せられました。どの作品からも京丹後市の美しい自然や素晴らしい歴史を大切にしながら、これからも市民が住み続けた

ージした豊かな感性が伝わってきます。素晴らしい作品をありがとう。若い可能性にあふれた小・中学生の、みなさんのこの思いをぜひとも大切にしたい。

まちづくりの基本として、丹後の魅力あふれる自然環境、歴史文化を尊び、これと調和した発展を推進してまいります。多くの課題もありますが、課題は真摯な努力の中でいつか喜びの材料へとつて代わります。そして、歴史文化や自然環境を活かしたまちづくりのありようは、二十一世紀の日本の発展の方向の大きな軸の一つになると確信をしております。新生京丹後市から、新しい時代の日本に、そして世界に、自信をもつて誇れるまちづくりを市民のみなさんと一体になつて着実に推進してまいります。

市政の運営にあつては、偏りのない、隅も中心もない、公平な行政運営を行つてまいります。すべての地域、すべての市民一人ひとりが主役であり、主人公であります。すべての公務員は公僕であり、役所は奉仕所であります。市民に、そして市民社会の繁栄に御奉仕させていただきます。この姿勢に絶えず基づいた市民本位、市民起点の行政を力強く推進してまいります。

どんな人でも、一人ひとりが

一人残らずかけがえのない存在であり、宝です。市民のみなさん一人ひとりがかけがえのないものとして大切にされ、生かしあつて、そして高めあつて生きる、いわば「調和と発展のまほろばの里」づくり、この京丹後市に住んでいて、日本一とも思えるほど、喜びややすらぎにあふれる、そんな里づくり、まちづくりを、市民のみなさんと一緒になつて創り築きあげてまいります。この機会に改めて決意を奉げます。

市民のみなさんに、呼びかけたいと思います。希望を持ってください。夢を持つてください。そして、自信を持つてください。課題はいつか喜びへと代わります。必ず、丹後は、この京丹後市は、輝き始めます。ともに心を合わせて夢や希望にあふれた歩みを、喜びの心を胸に、少しずつ、そして着実に歩み続けていきましょう。

結びにあたり、本市が、今日を迎えることができましたのも、格別のご指導、ご支援を賜りました国・京都府ならびに近隣の市・町そして市民の皆様のご協力の賜物であり、重ねて深く感謝を申し上げます。ご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

市町村合併功労者総務大臣表彰 自治功労者表彰

表彰を受けられたみなさん

市町村合併功労者総務大臣表彰



旧峰山町長
増田 桂一氏



旧大宮町長
吉岡 秀男氏



旧網野町長
濱岡六右衛門氏



旧丹後町長
中江 宏樹氏



旧弥栄町長
有田 光亨氏



旧久美浜町長
吉岡 光義氏



旧峰山町議会議員
平井 渉氏



旧峰山町議会議員
田中 春二氏



旧大宮町議会議員
荒田 寛康氏



旧大宮町議会議員
石河良一郎氏



旧網野町議会議員
田茂井誠司郎氏



旧網野町議会議員
末次 祥孝氏



旧丹後町議会議員
小森 潔氏



旧丹後町議会議員
瀬川 善麿氏



旧弥栄町議会議員
久江 晶夫氏



旧弥栄町議会議員
木本 勇氏



旧久美浜町議会議員
清水 勇氏



社団法人 峰山青年会議所
(代表して、理事長の岸田尚也氏が受賞)



旧久美浜町議会議員
川戸 忍氏



元丹後町長
(故) 相見 幸三氏



「未来の京丹後市」 「絵画・作文コンテスト」

【作文の部】京丹後市長賞

井上 侑子さん

(高龍中学校三年生)

「戻ってきたくなる市へ」



「緑・青」。この二色は、京丹後市のよさを表す色だ
と思います。

小学生のころに山に登り、その美しさに感動した緑。
元気にさせてくれる、澄み渡る空の青。こんな体験は、
都会に住んでいたら気軽に感じられないのに、なぜみんな離
れたがるのでしょうか。それは、さびしいことだと思いま
す。その原因の一つは、「職」だと思います。せつかく
帰ってきて働く場所がない。専門的な知識を活かすた
め、いろんな希望を持って帰ってきた人が、今までにた
くさんいたはずですが、しかし、現状はそれを活かせる場
所がありません。

そこで私が提案することは、「緑・青」の二色を活か
すことです。そうすれば、人々の希望が必ず活かせる市
になると思います。

例えば、農業を学んできた人。最近、新鮮で安全な
野菜が求められています。自分の思いを込めてものをつ
くる仕事で、すてきたと思います。その野菜を使いレス
トランを開くのはどうでしょうか。そこで、食物の栄養
面について学んできた人の出番です。地元野菜で、健
康面も考えた料理を発信していけば、京丹後市の特徴も
知ってもらえ、市が活発になると思います。

そして、自分で何かをしたいという人は、地元で会社
を起したらいいのではないのでしょうか。確かに大変な
ことです。しかし、そういう何かをやるうとする意気込

みを持った人こそ、この市には必要だと思います。地元
をよく知っている人が、観光関係の仕事に取り組めば、
さまざまな分野に広がっていくと思います。例えば、何
かイベントを開くなら、たくさんの方が必要です。舞台
をつくったり、企画をする人なども必要です。地域のい
ろんな人が一つのことに向かって仕事をする。それで、
多くの人に市民の思い、市のよさが伝わるし、業者のか
たからもどんな市かということが広がる。いろんなネッ
トワークで、市のことが日本中に伝わって、そして私た
ちは、人と人とのつながりを再認識できるのではないで
しょうか。こんなチャレンジ精神を持った人が、京丹後
市にはたくさんおられるはずですよ。

また、いろいろな事情でこの土地を離れる人もいま
す。そこで、他の土地に住んでいる人には、そこから京
丹後市に関する情報を発信してもらえばいいのです。そ
うすれば、そこに住んでいながらも、京丹後市を身近に
感じてもらえると思います。いいところをもっと知って
もらうこともできます。こうした情報網がさらに広が
り、京丹後市の誇れるところが日本中に知られ、活気あ
ふれる地域になってくれると、すごくうれしいです。
将来、私もここへ、また戻ってきたいです。京丹後市
のあの二色が、私は大好きだから。

◆次号(十月号)で、教育長賞を受賞された小北志織さん
(峰山中学校三年生)の作文をご紹介します。

◆「絵画・作文コンテスト」入賞者の作品を各庁舎で展
示します。(大宮庁舎での展示は終わりました)

峰山庁舎(九月六日～十七日)

網野庁舎(九月二十日～十月一日)

丹後庁舎(十月四日～十五日)

弥栄庁舎(十月十八日～二十九日)

久美浜庁舎(十一月一日～十二日)

※土曜日・日曜日・祝日は、除きます。

※時間 午前八時三十分～午後五時十五分(各庁舎
の最終日は、正午までの展示です)

医療費の助成を受けるには申請が必要です。小学校入学前までの乳幼児を対象に行っています医療費の助成では、府内の病院などであれば市が発行する「乳幼児医療費受給者証」を窓口で提示することで助成を受けることができます。しかし、今回の児童医療費助成制度では受給者証を発行しません。後日の申請により病院などで支払った医療費から二百円を控除した額を助成することとしています。こ

**申請により
助成金を支給**

市では、十月一日から子どもたちの医療費の助成範囲をこれまでの小学校入学前から、小学校卒業時まで拡大することとしています。本紙八月号でその概要を紹介しました。今月号では、助成を受けるための申請方法や注意事項などをご紹介します。

10月1日から

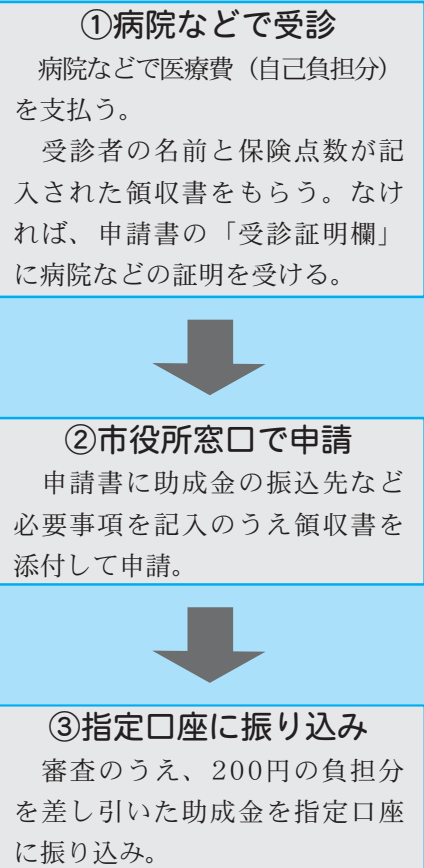
児童医療費助成の範囲拡大

のため、受診した時は、いったん病院などの窓口で医療費（自己負担分）を支払う必要があります。なお、乳幼児でも、府外の病院などを受診した場合、助成を受けるためには申請が必要

**申請には
領収書が必要**

申請には領収書（レシート）が必要で、市役所窓口にある申請書に病院などが発行する領収書を添えて申請してください。申請書に添付する領収書は、

児童医療費助成の流れ



詳しくは、医療保険課（☎69-0220）または、市民局地域総務課にお問い合わせください。

受診者の名前と保険点数が記入されているものが重要です。領収書は大切に保管してください。領収書を失ったり、受診者の名前や保険点数の記入のない領収書しかないときは、病院などで申請書の下欄にある「受診証明書」の欄に証明を受けてください。なお、申請は、病院ごとにか月分をまとめて行って

現在、小学生を対象に行っています歯科治療費の負担金補助制度は廃止となり、児童医療費助成制度に含まれることとなります。このため、十月以降の歯科治療には一病院当たり一か月二百円の費用が必要となります。なお、九月三十日までの歯科医療費一部負担金については、十一月三十日までに申請のあったものについて補助金を交付することとしています。現在、歯科治療を受けているかたなどは、忘れずに申請してください。

この制度の対象となるのは、市内に住所を有する、小学校に通学する児童の保護者のかたです。ただし、生活保護を受けている児童の保護者のかたや、市福祉医療費受給者証の交付を受けている児童の保護者のかたは対象になりません。児童の病気やけがなどが、第三者の行為によって生じたものであるときは、その旨と被害状況を市長に届け出る必要があります。また、病気やけがなどについて損害賠償を受けたときは、助成額の調整を行う場合があります。

**歯科医療費補助は
廃止に
ださい。**

**市内の小学生は
誰でも対象に**

**未来の京丹後市
絵画・作文コンテスト**

京丹後市の誕生を記念して、市内の小・中学生のみなさんから募集しました「未来の京丹後市」をテーマにした「絵画・作文コンテスト」には、1,687点（絵画の部865点・作文の部822点）の力作をお寄せいただきました。式典では、「市長賞」・「教育長賞」・「優秀賞」・「入選」に輝かれたみなさんに、表彰状と記念品を贈りました。



京丹後市長賞 「未来の市」
黒部小学校4年生 平林 里香さん



京丹後市教育長賞 「たのしい未来京丹後市」
吉野小学校6年生 堀江 竜汰さん



絵画の部（敬称略）

京丹後市長賞	平林 里香	（黒部小学校4年生）	「未来の市」
京丹後市教育長賞	堀江 竜汰	（吉野小学校6年生）	「たのしい未来京丹後市」
優秀賞	井元 達也	（大宮第二小学校2年生）	「あったらいいな こんなあそび場」
優秀賞	松村 美里	（大宮第一小学校3年生）	「れきしと未来の町」
優秀賞	富田 奏子	（弥栄中学校1年生）	「ちょっと都会の京丹後市」
入選	川口 翔	（大宮第二小学校2年生）	「あったらいいな こんなあそび場」
入選	岩佐幸葵子	（峰山小学校3年生）	「未来の市」
入選	三好 志尚	（橘小学校5年生）	「未来の京丹後市」
入選	行待 真実	（吉原小学校6年生）	「私が描く京丹後市」
入選	井上 結賀	（峰山中学校2年生）	「窓から見える街」

作文の部（敬称略）

京丹後市長賞	井上 侑子	（高龍中学校3年生）	「戻ってきたくなる市へ」
京丹後市教育長賞	小北 志織	（峰山中学校3年生）	「未来の京丹後市に望むこと」
優秀賞	改田 仁実	（大宮第三小学校5年生）	「私達の未来の町『京丹後市』」
優秀賞	野村 光平	（田村小学校6年生）	「自然を大切に作る京丹後市に」
優秀賞	黒川 美紀	（峰山中学校2年生）	「自然を大切に作る町づくり」
入選	平井 誠	（丹波小学校3年生）	「こんな場所あったらいいな」
入選	山内 綾子	（豊栄小学校4年生）	「自然がたくさんある町」
入選	小牧 拓矢	（峰山小学校5年生）	「未来の人と自然の京丹後市」
入選	中山 香	（竹野小学校6年生）	「自然あふれる京丹後市に」
入選	富田 奏子	（弥栄中学校1年生）	「私が夢みる未来の京丹後市」

精鋭が訓練の成果を競う

京丹後市消防操法競技大会

京丹後市発足後初めての「京丹後市消防操法競技大会」を七月十八日に鳥取小学校（弥栄町鳥取）グラウンドで開催し、連日連夜にわたる厳しい訓練を乗り切った団員のみなさんが、本番さながらの水出し操法を披露しました。

午前八時に始まった開会式では、ラッパ鼓隊の演奏にあわせて三百七十人の団員が堂々の入場。中山市長が、献身的な活動に対するお礼とともに「日夜を分かたず訓練を重ねてこられた成果を十分に発揮していただき、充実した大会となりますこと」を期待しています」とあいさつを述べ

力強い宣誓を行う
弥栄町の吉岡憲一さん



べ、また来賓からは、激励と日ごろのご苦労に対する敬意と感謝の言葉が贈られました。

続いて、濱岡団長が「長期間におよぶ訓練、ご苦労さまでした。訓練の成果を十分に発揮していただき、ベルの高い操法を披露してください」と訓示。また、操作員を代表して弥栄町の吉岡憲一さんが「堂々と競技することを誓います」と力強く宣誓を行いました。

大会には、小型ポンプ操法の部・ポンプ車操法の部に、旧町ごとの大会（六月二十日・二十七日）で優秀な成績を収めた精鋭が出場。

競技は、厳しい訓練を物語る、声の枯れ果てた指揮者の「操作始め」の合図で開始。緊張感の漂う中で、きびきびとした迅速かつ的確な操法が次々と披露され、来賓席や多くの観衆から大きな拍手が贈られました。



プレッシャーをはね除けての半日におよぶ競技の結果、「ポンプ車操法」、「小型ポンプ操法」とも『久美浜町』が見事に優勝を飾り、真新しい優勝旗を手に入れました。

閉会式では、中西審査長が「伝統ある消防団の実績に恥じない、質の高い素晴らしい競技会でした」と総評を述べるとともに、団員のみなさんにねぎらいの言葉が贈られました。

ポンプ車操法の部 優勝 久美浜町



成績 (敬称略)

ポンプ車操法の部	
優勝	久美浜町
指揮者	山岡 精紀
一番員	藤沢 勝彦
二番員	梅本 稔博
三番員	西垣 聡司
四番員	家城 俊昭
準優勝	丹後町
第三位	弥栄町
小型ポンプ操法の部	
優勝	久美浜町
指揮者	小西 寛
一番員	古村 真文
二番員	福田 利晴
三番員	山本 正規
準優勝	丹後町
第三位	弥栄町

小型ポンプ操法の部 優勝 久美浜町



京都府消防操法大会

ポンプ車操法の部 久美浜町が見事3位入賞



八月一日に京都府立丹波自然運動公園（丹波町）を会場に、「第十八回京都府消防操法大会」が開かれ、「ポンプ車操法の部」で『久美浜町』が見事三位に入賞しました。

この大会は、消防技術の向上と士気の高揚を目的に京都府と京都府消防協会の主催で、昭和四十五年から隔年で開催しているものです。

今大会には、府内の消防団や消防職員、また関係者など約千七百人が参加し、「ポンプ車操法の部」に二十三団、「小型ポンプ操法の部」に二十九団が出場。京丹後市消防団からは、合併特例として「ポンプ車操法の部」に旧町ごとに六隊が出場しました。

競技は、台風の影響で、突風と時折雨が降る不安定な天候の中でしたが、各市町村ごとの大会で優秀な成績を収めた団員が、訓練に

次ぐ訓練の成果を次々と披露。ハイレベルな競技の中、「京丹後市消防操法競技大会」においても優勝を飾った『久美浜町』が見事三位入賞を果たしました。

夜の九時前に、市役所前に到着した団員を、田茂井市議会議長をはじめ、市議会議員のみなさんや市幹部職員などが出迎え。荒田助役が「京丹後市誕生の記念すべき年、またスタートしたばかりの京丹後市消防団にとり三位入賞という金字塔を打ち立てていただき、深甚なる敬意を表し、心からお祝い申し上げます」とお祝いとねぎらいの言葉が贈られました。

成績 (敬称略)

ポンプ車操法の部	
優勝	宮津市
準優勝	岩滝町
第三位	久美浜町
指揮者	山岡 精紀
一番員	藤沢 勝彦
二番員	梅本 稔博
三番員	西垣 聡司
四番員	家城 俊昭
小型ポンプ操法の部	
優勝	亀岡市
準優勝	宮津市
第三位	美山町
第四位	木津町
第五位	井出町
第六位	南山城村

丹後あじわいの郷にウッドデッキを設置

京丹後市の誕生を記念して、丹後地区森林組合と京都工芸繊維大学の協力を得て、「産学官」協同で、丹後あじわいの郷（弥栄町鳥取）の芝生広場に「ウッドデッキ」を設置しました。

京都工芸繊維大学は、平成十四年十一月に「丹後サテライト」（京都府織物・機械金属振興センター内・峰山町丹波）をオープン。地元産業に密接に関係したテーマで同大学の教員が講師を務める「丹後塾」の開催や、企業向けの技術相談など、丹後地域の産業振興や活性化に積極的に取り組んでいただいています。

今回の「ウッドデッキ」製作は、学生の学外実習もかねて行われたもので、同大学造形工学科の三回生三十二人、教職員あわせて延べ二百二十八人が参加。地元の間伐材を丹後地区森林組合から提供いただくなど、「森林組合・大学・市」の「産学官」による手づくりの環境にやさしい設備となっています。

製作は、五月十日の現地視察から始まり、デザインの見直しや現地測量を経て、七月三十一日から現地での製作を開始。猛暑の中にもかかわらず、連日約十人ずつの学生が交代で作業にあたり、八月十七日に完成しました。

8月17日に、テープカットやくす玉を割り完成を祝いました



製作にあたった造形工学科のみなさん（中央・中山市長、右隣・京都工芸繊維大学 古山副学長）

完成した「ウッドデッキ」は、さまざまなイベントなどで利用できる、檜の間伐材でつくられた幅十四畳、奥行十畳の「ウッドステージ」。直径五・六畳と同七畳、同九畳の三つのサークルが遊歩道でつながれ、休憩ベンチにもなる「サークルデッキ」。また、五基の子どもの遊具「ウッドオブジェクト」の三設備。八月二十一日・二十二日に開催した「風人祭」で来園者に披露され、訪れた人は、のんびりと「サークルデッキ」に腰掛けるなど、手づくりの温かみのある作品を楽しんでいました。



ウッドオブジェクト



サークルデッキ

環境や福祉への関心を高めてもらうと、社会福祉協議会大宮支所の主催により、「ふれあいクリーン大作戦」が八月八日に行われ、親子やグループなど七十二人が力をあわせて、道路脇などに捨てられたごみの回収に取り組みました。

この事業は、家族の絆を深めるとともに、ボランティア活動のさらなる普及を目指す、京都府社会福祉協議会の「家族でボランティア体験事業」の一環として実施したものです。

午前九時過ぎ、大宮庁舎前に集結した参加者を前に、市社会福祉協議会の吉岡副会長が「このような行動により、多くのかたに美しい環境づくりについての認識を深めていただきたい」とあいさつ。参加者は、入道峠や国道312号など四班に分かれて、強い日差し

が照りつける中、大粒の汗を流しながら空き缶やペットボトルなどを回収しました。

家族で力をあわせ ふれあいクリーン大作戦



「安全祈願祭」（8月3日）には、中山市長をはじめ工事関係者や地元区など約50人が出席。玉ぐしを捧げるなど工事の安全を祈りました



全国に先駆け
太陽光・風力・バイオガスによる
クリーンな発電

再生エネルギーの中核施設 バイオガス発電施設の建設に着手

丹後地域でのクリーンな電力の安定供給を目指し、「再生エネルギー・産業技術総合開発機構」（NEDO）の委託を受け、京丹後市と京都府、民間企業が共同で進める「京都エコエネルギープロジェクト」（KEEP）の中核施設として、弥栄町船木に建設する「バイオガス発電施設」の工事に、このたび着手しました。



バイオガス発電施設の完成予想図

同施設は、弥栄町船木の九千八百㎡の用地に、民間企業が総工費約二十三億円をかけ建設。食品工場などから集めた未利用有機物をメタン発酵させ、発生したガスを燃料として利用し、発電を行うものです。

京丹後市では、「太陽光発電施設」として今年五月に、丹後あじわいの郷の展望施設と溝谷・吉野地区農業集落排水処理施設に太陽光パネルを設置。また、秋にスイス村で建設着工予定の風力発電施設と組み合わせ、全国に先駆け、環境負担の少ないクリーンな再生エネルギーの安定的供給の構築を進めていきます。

網野中学校3年生 三村冬子さん

アジアカデット女子レスリング選手権大会で



中山市長に、優勝の喜びを笑顔で報告する三村冬子さん

キルギス共和国の首都・ビシュケク市で開かれた「二〇〇四年アジアカデット女子レスリング選手権大会」で、四十三kg級に日本代表として出場した、網野中学校三年生の三村冬子さん（網野町浅茂川）が、見事に全勝優勝を飾りました。

カデットは、今年で十五歳になる選手から十七歳までの選手が出場できる大会で、日本からは、全十階級のうち八階級に出場。

三村さんは、五か国が出場した四十三kg級で総当たりにより試合を行い、四戦全勝を果たし、初の国際大会で栄冠を手に入れました。

三村さんは、網野高等学校のレスリング部を創設し、アテネオリンピックに出場した、レスリング女子四十八kg級の伊調千春さんや、男子フリースタイル六十kg級の井上謙二さんを指導した父親・和さんへの指導を受け、四歳からレスリングを開始。現在は、主に網野高等学校のレスリング部で厳しい練習に励んでいます。

八月十三日に、移動市長室として網野庁舎で執務にあたる中山市長と引野教育長に優勝の喜びを報告。

中山市長が「優勝おめでとうございます。まずは『日本の三村』から『アジアの三村』になられ、市民の一人としてたいへん誇りに思います。まだまだこれからの人。大切なのは、『心を一層低くすること』を絶えず忘れないでください。そして志は高く、四年後のオリンピックを目指し、また二連覇・三連覇されることを想像しています」と激励。三村さんは「オリンピックは夢のまた夢で、まったくわかりませんが、少しずつでも近づけるように、がんばります」とはにかみながらも夢の実現に向けて目を輝かせていました。

英語教育の充実・外国文化の理解に

A E T (英語指導助手)を配置

これからの社会は、外国語とりわけ英語を使い、外国のかたとコミュニケーションを図ることが強く求められています。

市では、「英語を使うことができる環境づくり」や「英語教育の充実」の一環として、現在7人のA E T (英語指導助手)を配置しています。

A E Tは、市内の中学校で英語指導の補助や小学校の訪問などを行い、英語に触れる中で、異文化への理解を深めるとともに国際感覚を身につける「国際理解教育」の推進に努めています。

※A E T (英語指導助手)

A : Assistant (助手)、E : English (英語)、T : Teacher (教師) の略で、日本人の教師とともに英語の授業を行う外国人教師

(敬称略)

キャサリン・L・プライド
Catherine L Pride
出身国:イギリス
配置:峰山町



今からどんな冒険やチャレンジが待っているのか、ワクワクしています。特に、市民のかたと知り合って、地域に溶け込んでいくことを楽しみにしています。

エラード・M・アレグレ
Eluard M Alegre
出身国:アメリカ
配置:大宮町



大宮町に住めて、とてもうれしく思っています。ここは、とても美しく、親しみやすいかたばかりです。みなさんに会えることを楽しみにしています。

ロバート・A・エバンズ
Robert A Evans
出身国:アメリカ
配置:大宮町



みなさんに会えることを、とても楽しみにしています。私が教えることと同じように、みなさんからもいろいろ教えてください。

マイケル・K・ヒース
Michael K Heath
出身国:イギリス
配置:丹後町



美しい京丹後市に来ることができて、とてもうれしいです。きっとここで楽しくやっているとと思いますし、親切にしてもらい、とても感謝しています。

ジェイソン・ピーターソン
Jason Peterson
出身国:アメリカ
配置:網野町



アメリカのサウスカロライナ出身です。野球、バスケットボール、テニスが好きで、日本でもぜひやってみたいと思います。早くみなさんにお会いしたいです。

ダニエル・ベリー
Daniel Berry
出身国:イギリス
配置:久美浜町



幸運にも、丹後に来る機会を得ました。生徒のみなさんが、英語を勉強し、いつか海外旅行をしたり、海外で働いたりするようにお手伝いしたいと思います。

エマ・ロバートソン
Emma Robertson
出身国:ニュージーランド
配置:弥栄町



丹後に来て2年目になります。夏休みは、京都市内で日本語を勉強していました。まだ、うまくないですが、みなさんとお話できることを楽しみにしています。

人と人との交流を深め、豊かな人間関係を築こう

市では、「人権強調月間」期間中の八月四日から十九日にかけて、各市民局で人権尊重を訴える街頭啓発活動を行いました。

これは、あらゆる差別の撤廃と基本的人権の擁護・啓発事業を推進する「京都人権啓発推進会議」(京都市・市町村・民間団体などで構成)が、毎年八月を「人権強調月間」と提唱する運動の一環として、府下一円で行っている取り組みで、商店街などで人権意識の高揚を呼びかけました。

八月十日に網野市民局で行った啓発活動には、中山市長をはじめ人権擁護委員、京都府、社会福祉協議会、商工会、京都府織物・機械金属振興センターなどから十三人が参加。にしぎ網野店とJ A京丹後ライフサービスコープあみの店の店頭で、買い物に訪れたかたに、啓発物品などを配り、人権の大切さを訴えました。市では、「人権」を身近なことから考えてもらえるように、講演会の開催や啓発資料の作成・配布などを行っているほか、学校や地域などさまざまな場で、人権について考え



人権の大切さを訴えました

てもらう機会をつくり、「差別は許さない」という市民一人ひとりの人権意識の高揚を目指した活動を展開しています。また、広報紙「きょうたんご」七月号で紹介したように、市内には法務大臣から委嘱された十九人の人権擁護委員が、市民のみなさんの人権が侵害されることのないように注意を払っています。人権擁護委員は、いつでもみなさんの相談に応じています。相談は無料で、秘密は固く守られますので、お気軽にご相談ください。

救助技術の最高峰

「全国消防救助技術大会」に出場

消防本部

八月二十六日に兵庫県三木市で開催された「第三十三回全国消防救助技術大会」(財団法人全国消防協会主催)に、市消防本部から、「ロープ応用登はん」(二人でロープのみを使って高所に登るタイムを競う)の部門に村野二郎さんと指田竜さんの二人が出場しました。



全国大会への出場が決まった二人を、中山市長が激励
村野二郎さん(右)
指田竜さん(左)

「東近畿地区選抜会」の前日、7月27日に峰山消防署で「壮行会」が開かれ、荒田助役や市の幹部職員、丹波保育所の子どもたちに、正確かつ迅速で高度な救助技術が披露されました。



七層の高さからロープで人を救出する「斜めブリッジ救助」

この大会は、年に一度開催されるもので、各都道府県の予選大会、続く地区大会(全国九ブロック)を勝ち抜いたトップレベルの救助隊員が出場。災害現場活動に即応できる高度な技術を競う大会であり、厳しい訓練で培った強じんな体力と精神力、そしてチームワークが必要とされ、消防隊員の「甲子園」とも呼ばれています。市消防本部からは、六月九日に開かれた「京都府選抜会」で、「ロープ応用登はん」、「ほふく救出」、「斜めブリッジ救助」の各部門に出場した四チーム(十三人)すべてが上位に入賞し、府の代表に決定。続いて七月二十八日に行われた「東近畿地区選抜会」では、「ロープ応用登はん」の部門で準優勝を飾り、全国大会に出場したものです。



久美浜湾には勇壮なかけ声と太鼓の音が響いていました

今年で十五回目の開催となったドラゴンカヌー選手権大会。昨年までは、久美浜の夏を代表するイベントとして行われていました。今年も合併して、京丹後市の大会として行われました。レースは、男子予選から始まり決勝まで全四十一レース。男子決勝（五百名）以外はすべて三百名で競い合いました。午前中は風もなくコース内は波静かなコンディション。レースは順調に行われました。ところが、昼過ぎに雷を伴う



ドラゴンカヌー同様に盛り上がった三輪車レース

今年の夏を象徴するような暑い一日となった八月八日。久美浜湾カヌーレーシング競技場で千日会観光祭「二〇〇四京丹後市ドラゴンカヌー選手権大会」が開かれました。今大会の参加クルーは男子が八十、女子が十九のあわせて九十九クルー。近隣市町のほか、京阪神方面や鳥取県からの参加もありました。各クルーは上位入賞を目指し、激漕や迷漕するレースを繰り広げました。

2004 京丹後市ドラゴンカヌー選手権大会

激漕 迷漕 ドラゴンカヌー

雨のため約二十分間の中断。熱戦に水をさされるかたちとなりました。しかし、その後はまた、夏の暑い日ざしとなり、湾上では熱いレースが繰り広げられました。出場者は、カラフルなTシャツや帽子を着込んでドラゴンカヌーに乗船し、水しぶきで濡れになりながらもゴールを目指して一生懸命パ

ドルを漕いでいました。また、同競技場に隣接する浜公園ではムカデ競争や三輪車レースなどのサブイベントが行われ、出番を待つ選手や子どもたちが歓声をあげながら楽しんでいました。レースの結果、男女とも相生市（兵庫県）のクルーが圧倒的な強さで上位を独占。表彰式では、賞状や副賞の久美浜特産メロンを手に喜びを爆発させていました。また、特別賞として抽選で十クルーに、メロンが贈られました。



パドルを高々とかけ予選突破を喜ぶクルー

結果

- 男子【500名】
- ①相生青龍会（相生市） ……3分 6秒86
 - ②磯風漕友会（相生市） ……3分 9秒22
 - ③我ら友達メロン組by堀和希（相生市） ……3分10秒48
 - ④Grand Swell（相生市） ……3分12秒57
 - ⑤日進龍進会（市内） ……3分24秒74
 - ⑥久美浜戦隊漕げるんジャー（大阪市） ……3分26秒99
- 女子【300名】
- ①チーム いけドン（相生市） ……2分 3秒171
 - ②チーム 心（相生市） ……2分 3秒176
 - ③グランド スウェル・ガールズ（相生市） ……2分 6秒03
 - ④BRACK ROSE（相生市） ……2分 9秒11
 - ⑤河姫進（市内） ……2分19秒77
 - ⑥ゴッド マザーズ（市内） ……2分20秒05

*タイムは決勝レースのタイムを記載しています。

ご存知ですか？

Tango Good Goods

今年は90点を認定



商品と手にとり、真剣なまなざしで審査する審査員

八月五日、「Tango Good Goods（タンゴグッドグッズ）」認定推進委員会（井上利征会長が、アミノイ丹後（網野町網野）で開かれ、今年度の認定商品が決定されました。この認定事業は、小規模生産であるが丹後地域のさまざまな優秀な地場産品を「Tango Good Goods（丹後ブランド商品）」として認定審査会が、同会場の多目的ホールで行われました。審査会は、デザイナーや消費者の代表など五人で構成。審査は、観光客などに推奨できる商品で、丹後独自の伝統がしのばれるなど、丹後らしさの表現に優れている商品である。



強風の中、国体出場をかけた懸命にパドルを漕ぐ選手たち

国体かけて熱い戦い 近畿ブロック大会

八月一日、久美浜湾カヌーレーシング競技場で、「第五十九回国民体育大会近畿ブロック大会」のカヌー競技が開かれ、近畿二府四県の代表約八十人が参加。国体本戦への出場権をかけて熱い戦いを繰り広げました。当日は、台風十号の影響で強い東風が吹き、波が高く選手は正面からまともに風を受けるといふ厳しいレースコンディションとなりました。午前十時三十分には少年女子カヌーシングから始まったレースは、全九レースが行われ、各種目で国体本戦出場者が決まりました。京丹後市からは、六レースに十人が出場。全員が本戦出場を決めました。

ることを基準に行われました。審査会場には、五十四事業所から申請のあった百十四点の商品がズラリと並び、審査員らは、商品の一つひとつを手に取り品質や価格などについて厳しく、また、いいに審査していました。審査の結果、優秀品として、「きぬもよふ まゆのせつけん」



申請商品を試着。着心地なども審査しました。

まゆのシャンプー・まゆのリス、「食べる富士酢」、「えごまふりかけ」の三点が選ばれたほか、九十点の商品が新たに認定され、同事業の認定商品数は、四百四十点となりました。また、「Tango Good Goods」ホームページにも掲載されることとなっています。

Tango Good Goodsホームページ <http://www.amino-town.jp/tgg>

大切な命を守るため 久僧地区交通安全教室



久僧地区交通安全教室の様子。自転車の乗り方や、ジグザグコーンや八の字コーンで運転技術を競うなど、楽しみながら「交通安全」について学ぶとともに、地域全体で交通安全意識を高める必要性を改めて感じていました。

交通事故の防止、また地区の福祉活動の一環として竹野郡交通安全協会と網野警察署の協力を得て、久僧区と久僧区福祉推進委員会の主催により「交通安全教室」が、七月十九日に丹後町久僧地区で開かれ、小学生から高齢者のかたまで約五十人が、正しい交通ルールや安全な自転車の乗り方などを再認識されました。



普段は意識していない、自分の歩く速さを測定

第一部として久僧農業会館での「交通安全サポート隊交通教室」では、京都府警察本部に「基しかなない」歩行シミュレーターを使い、自分の歩く速さを体感。七折の道を想定したシートの上を歩くと大型スクリーンに映し出された人形も同じ動きをし、近づいてくる車に当たらずに道路を横断するための歩行スピード

暑さも忘れ サッカーで交流 網野カップ少年サッカー大会

保護者などから大声援を受け、暑さも忘れて無心でボールを追いかけました



成績

- 小学上級の部**
 - 優勝 比叡少年蹴球団 (京都市北区)
 - 準優勝 伊勢田サッカークラブ (京都市伏見区)
 - 第3位 京都大宅サッカースポーツ少年団 (京都市山科区)
- 小学中級の部**
 - 優勝 太秦サッカースポーツ少年団A (京都市右京区)
 - 準優勝 西野サッカースポーツ少年団 (京都市山科区)
 - 第3位 FC和田山ウイングス (朝来郡和田山町)
- 小学下級の部**
 - 優勝 修斉サッカースポーツ少年団 (福知山市)
 - 準優勝 太秦サッカースポーツ少年団 (京都市右京区)
 - 第3位 舞鶴中筋FCスポーツ少年団 (舞鶴市)
- 中学下級の部**
 - 優勝 比叡少年蹴球団 (京都市北区)
 - 準優勝 弥栄フットボールクラブジュニアユース (弥栄町)
 - 第3位 神戸フットボールクラブジュニアYB (神戸市灘区)

八月一日の午前八時から網野北小学校(網野町浅茂川)で開かれた開会式では、荒田

今大会には、小学上級・小学中級・小学下級・中学下級の四部門に市内をはじめ、京都府内のチームのほか、京都市や東大阪市、神戸市などから八十四チームが出場。

力強い宣誓を行った
網野サッカークラブ
主将・青木一茂くん



夏本番を迎えた七月三十一日から八月二日までの三日間、「網野カップ少年サッカー大会」(同実行委員会主催)が、市内の八会場で開かれ、約千四百人の選手が伸び伸びとしたプレーで交流を深めました。

大会は、海と緑の中で、少年たちの親睦を図るとともに、サッカー競技の普及と技術・体力の向上を目的に開催されているもので、今年で十八回を数えました。

真つ黒に日焼けした子どもたちは、暑さも忘れてグラウンド狭しとボールを追い、ゴールが決まるたびに大きな歓声がこだましました。

市民活動を応援

京丹後市

まちづくり推進活動」支援事業

十二団体に補助

市では、個性豊かな活力あふれるまちづくりを推進するため、地域の活性化につながる、グループや団体などが行う創意と工夫にあふれた自主的、主体的なまちづくり活動を支援しようと、企画書の募集を行ったところ、22団体から応募をいただきました。審査の結果、次の11団体の事業に対し、補助金を交付することに決定しました。

海の見えるラベンダー畑の会 代表 山口洋子さん (丹後町袖志)

丹後町の宇川国営農地で、約6反(1,800坪)の畑を借り受け、ラベンダー(5,000株以上)をはじめ、四季の花を植栽します。

海と宇川温泉、そして碓高原牧場などの観光ルートの中に組み入れた、魅力的な「癒し(いやし)の空間」、小・中学生や保育所の子どもたちが気軽に花に親しむことができる「交流の場所」として活用していきたいと考えています。

また、収穫した花による石けんづくりなど、新たな産品づくりにも挑戦していきたいと思ひます。



グループ・団体名	事業概要
乙女会	羽衣伝説にまつわる伝統行事「大路七夕祭り」や、地域おこし事業を実施
峰山敬業会	首相官邸は峰山藩の屋敷跡など、峰山藩主京極家を題材にした交流事業を実施
峰山町ボランティア連絡協議会	京丹後市内のボランティア団体の統合に向けた組織づくりと災害救援ボランティア組織の調査・研究
周知主基塾	蔵元など、酒に関係した土地柄を活用し、酒米づくりをはじめとした事業の実施
森本村づくり委員会	竹野川源流に住む者として、美しい川づくりに向けた研修と啓発活動を実施
岩木そば部会	地区で栽培している「そば」の生産を通じた村おこし。模擬店の出店やそば打ち体験教室の実施
海の見えるラベンダー畑の会	国営農地6反に、ラベンダー畑をつくり、観光スポット、交流空間を創造し、イメージアップを図る
丹後エコネットワーク	バイオディーゼル燃料としての使用済み天ぷら油の回収事業を実施し、循環型社会の推進を図る
弥栄溝谷太鼓	弥栄溝谷太鼓の伝承を目的に、小・中学生を対象にした練習会や発表会、また作調のための研修会を開催
野間地域活性化対策協議会	野間川の自然を守り、地域の活性化を図るため「野間夏祭り」を開催。地域の課題に対し、方策を検討
ロングビーチサーフィンネット	美しい海をいつまでも保つため、ビジターサーファーのモラルの向上および浜の清掃活動を実施



中村彰京都府丹後広域振興局長から遺族のかたに勲記と勲章が伝達されました

工会長や中郡防犯協会会長、社会福祉法人みねやま福祉会理事長なども歴任され、地域の活性化や福祉の充実、住み良いまちづくりに多大な貢献をいただきました。

元峰山町議会議長 故平井清隆さん

旭日單光章を受章

旭日單光章を受章

元峰山町議会議長の故平井清隆さん(峰山町杉谷・享年七十五歳)が「旭日單光章」を受章され、七月二十九日に平井さんの自宅で、中村彰京都府丹後広域振興局長から遺族のかたに勲記と勲章が伝達されました。

平井さんは、昭和四十六年二月に峰山町議會議員に初当選以来、三期十二年の永きに渡り議會議員として、地方自治の発展にご尽力をいただきました。

この間、総務常任委員会委員長、産業常任委員会委員長などの数々の要職を歴任され、昭和五十四年二月から二年間は同議會議長を務められ、卓越した見識と指導力により議会の円滑な運営に大きく寄与。また、峰山町商

七月二十二日、京都府が行っている国道482号小桑バイパスの工事現場で、同バイパスに新設された「佐野たけだ橋」と「小桑橋」の二基の橋りょうが完成。地域学習会を兼ねた現地見学会と、橋りょうに取り付けられた橋名板のお披露目が行われました。



自分たちが書いた文字の橋名板に見入る児童たち

露目では、「さのたけだはし」「佐野川」など児童らの力強い文字で書かれた四枚の橋名板が姿を現すと、周囲から大きな拍手が起こっていました。この見学会は、道路や橋について理解を深めてもらうと、府と市が主催。児童らが書いた文字が橋名板として永く残ることになることを愛し、

見学会には、佐濃小学校（西村忍校長）に通う同国道の沿線の四年生から六年生までの児童二十一人が参加。午前十時から始まった見学会は、府丹後土木事務所職員から国道のことを、橋の工事を手がけた建設業者の担当者から橋の構造などについて説明を受けました。橋名板のお披露目では、

道路や橋を大切に 工事中の小桑バイパスで学習会

見学会には、佐濃小学校（西村忍校長）に通う同国道の沿線の四年生から六年生までの児童二十一人が参加。午前十時から始まった見学会は、府丹後土木事務所職員から国道のことを、橋の工事を手がけた建設業者の担当者から橋の構造などについて説明を受けました。橋名板のお披露目では、

児童らは、橋名板となった現れた自分たちの書いた文字を見て「歴史に名が残るぞ」、「かっこいい」など喜んでいました。

平成17年度完成予定
今回新設されるバイパスは、平成8年7月に完成した京丹後市と兵庫県但東町を結ぶ「たんたんトンネル」(長さ1,237m)から市内への新しいアクセス道路として設置。総事業費は約10億円。総延長1,800m、全幅8.5m、車道幅員は6.5mの2車線で片側には幅2.5mの歩道も設置されます。完成は平成17年度の見込みです。



幻想的な明かりに包まれた園内

丹後あじわいの郷(弥栄町鳥取)で、七月二十三日から八月二十九日までの約一か月間、週末限定で「サマー・イルミネーション」と題した催しが行われました。これは、同園が入園者のかたに夏の夜を楽しんでもらおうと企画。園内のにぎわい広場と芝生広場の一部に、約三万個の電球を使った飾りつけが行われました。夜七時ごろから点灯されたイルミネーションは、日が暮れるにいたるに浮かび上がり、園内を幻想的な雰囲気包んでいました。入園者たちはさまざまな光を放つイルミネーションに見入っていました。

幻想的な夏の夜 あじわいの郷でイルミネーション

子どもの健全育成目指し 弥栄で水泳大会



一生懸命泳ぐ児童たちに大きな声援が贈られました

八月四日、鳥取小学校プール(弥栄町鳥取)で、「第二十一回弥栄町少年少女水泳大会」が開かれ、弥栄町内の小学生百五十人が参加しました。この水泳大会は、町内の小学三年生以上を対象に水泳技術と力を競うとともに、体力の向上と相互交流、親睦を図ることを目的に開催。弥栄町青年をそだてる会が主催し毎年行われています。午前九時三十分から始まった大会は、平泳ぎ、背泳ぎ、クロールの三種目(いずれも二十五m)と、リレーが行われ、十人の父兄らが応援に駆けつけ「がんばれ」、「もう少し」などと声援を贈っていました。同会では、青少年の健全育成を図ることを目的にさまざまな活動を行い、今年六月には、紙飛行機選手権大会を行いました。

古(いにしえ)のロマンに思いをはせていました。



中国大陸や朝鮮半島との交易で栄え、「丹後王国」と呼ばれるきっかけとなった丹後地域の考古資料を紹介する「発掘された交流のまち、京丹後の埋蔵文化財展」(教育委員会主催)を七月三十一日から八月三十一日まで、大宮ふれあい工房(大宮町三坂)で開催。来場者は、古代丹後の繁栄をほうふつさせる数々の展示を熱心に見入っていました。

「元都」・「丹後王国」のロマン
発掘された交流のまち、京丹後の埋蔵文化財展

展示は、「弥生」「丹後王国」く鉄とガラスのかがやき、「まつり」と生活く人々の営み、「古墳と埴輪(はにわ)の世界」、「『丹後王国』その後の四コーナーにわけて紹介。弥生時代後期最大級の「赤坂今井墳丘墓」(峰山町赤坂)から出土した「頭飾り」や、古墳時代の大田南五号墳(峰山町と弥栄町の境)から見つかった「青龍三年」の銘文がある「方格規矩四神鏡(ほうかくきくしんきぎょう)」、湯舟坂二号墳(久美浜町須田)出土の「金銅装双竜環頭大刀(こんどうそうそうりゅうかんとうだち)」の重要文化財など十二点のレプリカ、はにわなどの副葬品、発掘当時の古墳の写真など。全国でも一級の考古資料を約二百点を集め公開しました。

また、二十二日には、文化財保護課の岡林主事が展示品からみる古代丹後の交流について解説し、来場者は、「元都」として繁栄し、「丹後王国」と呼べる「京丹後市」の古(いにしえ)のロマンに思いをはせました。

消費生活ミニ講座 第2回

今回は、高齢者のかたや、そのご家族から多くの相談が寄せられる、消費生活にかかわるトラブルをご紹介します。

催眠(SF商法) ~高齢者のかたは特にご注意ください~

高齢者のかたを会場に集め、おもしろおかしく、そしてやさしく話しを進めて、販売員が次々に日用品を無料で配付。「もらわなければ損、買わなければ損」という催眠状態をつくり出して、本来の目的である高額な商品の購入契約をさせるものです。高額な商品とは「羽毛ふとん」や「磁気マットレス」などが多く、契約者は高齢の女性が大半を占めています。

「ただ」という言葉や、無料の日用品につられて、「買わなければ損」という雰囲気にもまれてしまい、うっかり契約書に署名し、後に「商品とともに高額な請求がきた」という相談が多く寄せられています。

催眠(SF)商法でうっかり契約してしまった場合でも、特定商取引法が適用され「クーリング・オフ」(契約の解除)ができます。

※クーリングオフ制度とは
消費者が、訪問販売などにより契約(申し込み)をした場合でも、契約書面を受け取った日を含めて8日以内(特定の商法によるものは20日以内)であれば、無条件で契約の解除ができる制度です。(詳しくは、下記の相談窓口へお尋ねください)

相談窓口

- 京都府消費者科学センター (☎075-821-0210)
- 京都府丹後広域振興局商工観光室 (☎62-4304)
- 京丹後市商工振興課 (☎69-0440) または市民局地域事業課



NHK「ふるさと皆様劇場」 公開録画 観覧者を募集

京丹後市と(財)京都府丹後文化事業団、NHK京都放送局では、京丹後市発足を記念して、NHK総合テレビ「土曜特集『ふるさと皆様劇場』」の公開録画を行います。この公開録画の観覧をご希望のかたを募集します。多くのご応募をお待ちしています。

- 日時 10月18日(月) 開場予定 17:00・開演予定 18:00
- 会場 京都府丹後文化会館(峰山町杉谷)
- 出演者(敬称略) 前川 清、梅沢富美男、伍代夏子、梅沢劇団 地元のみなさん
- 申し込み 往復はがきでお申し込みください。
「往復はがき」の往信用裏面と返信用表面に、郵便番号・住所・氏名(往信用裏面には電話番号も)を記入してお申し込みください。
1枚で1人が入場できる入場券をお送りします。
※応募多数の場合は、抽選とします。
※応募は、1人1枚に限らせていただきます。
(宛て先) 〒627-8567 京丹後市役所企画推進課内 「ふるさと皆様劇場」観覧係
- 応募締切 9月21日(火)《必着》
- お問い合わせ先 企画推進課(☎69-0120) (財)京都府丹後文化事業団(☎62-5200)

秋の全国交通安全運動

9月21日～30日

ゆずりあい 笑顔さわやか 京の秋

- ◎高齢者の交通事故防止
- ◎夕暮れ時と夜間の交通事故防止対策の推進
- ◎シートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底

ご声援ください

9/19

100km ウルトラマラソン

そのまんま東さんも走る



ゲストランナー そのまんま東さん

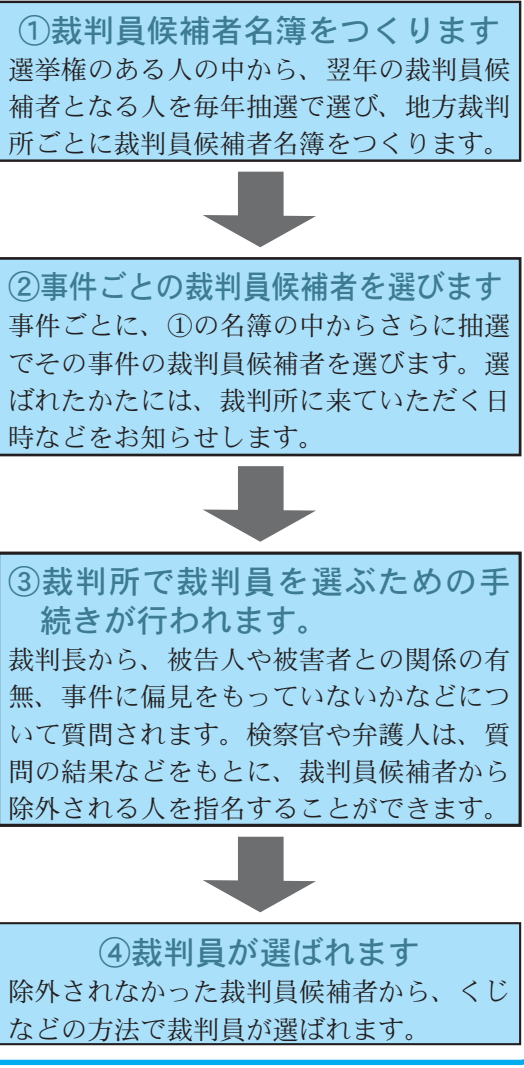
初秋の京丹後市内を駆け巡る「2004歴史街道丹後100kmウルトラマラソン」を、9月19日(日)に京丹後市市制記念イベントとして開きます。
今大会には、「そのまんま東さん」をゲストランナーとして招待。60kmコースに出場し、大会を盛り上げてくれます。
100kmコースは、午前4時30分に網野庁舎前をスタート。60kmコースは、午前9時30分に久美浜町浜公園をスタートします。
全国から訪れるランナーに沿道からの熱い声援をお願いします。

あなたも裁判員

2009年までに裁判員制度がスタート

今年五月に「裁判員の参加する刑事裁判に関する法律」が成立し、今後五年以内に裁判員制度がスタートすることになりました。
この制度では、国民のみならずが裁判員として刑事裁判に参加することで、裁判が国民にとって身近でわかりやすいものとなり、司法に対する国民の信頼の向上につながることが期待されています。

裁判員はこうして選ばれます



この制度に関する詳しいことは裁判所ホームページをご覧ください
<http://www.courts.go.jp>

裁判員制度Q&A

- Q 裁判員制度ってなに?
A 国民のみなさんに裁判員として参加してもらい、被告人が有罪かどうか、有罪の場合どのような刑にするかを裁判官と一緒に決めてもらう制度です。
- Q 導入されると何が変わるの?
A 法律の専門家ではない国民のみなさんが刑事裁判に参加することで、裁判が身近でわかりやすいものとなり、司法に対する信頼の向上につながると期待されています。
- Q 裁判員は何をするの?
A 裁判官3人と裁判員6人が一組となり、法廷で検察官の主張や被告人・弁護人の主張、証拠の内容を見聞きしたうえで、被告人が有罪かどうか、また、有罪であるとしたら、どのような刑が適当かを議論して決めます。
- Q 裁判員はどんな事件に参加するの?
A 殺人罪、強盗致死傷罪、放火罪などその罪に死刑、無期懲役、または禁じ刑のある重大な犯罪の場合です。
- Q 裁判員に選任されるとどのくらいの期間、裁判所へ行かなければならないの?
A 多くの裁判は、数日間です。終わります。裁判所としても充実した裁判を行い、国民のみなさんの負担を軽くするよう努力していきます。
- Q 法律を知らなくても大丈夫なの?
A 裁判員の仕事をしていたために必要な知識、例えば、裁判員の権限や、刑事事件の基本的なルール、法律の内容などは、裁判官がいていかにわかりやすく説明します。
- Q 裁判員になることは辞退できないの?
A 基本的に辞退できないこととなっています。ただし、高齢や病気などの理由で裁判所に行くことが難しいと認められた場合は辞退できます。
- Q 経済的な補償はしてもいいの?
A 旅費や日当などが支給されます。
なお、法律で裁判員の職務を行うのに必要な時間は職場を離れることが認められています。また、雇用主は、裁判員の職務を行うために休暇をとったことなどを理由に、不利益な扱いをしてはならないとされています。

京丹後市へ訪れたかたも 温かくお出迎え



完成を祝い除幕
荒田助役(右)
北近畿タンゴ鉄道 桑嶋宮津管理駅長(左)

市内のKTR各駅の観光案内看板を一新

京丹後市を訪れるかたを、気持ちよく、また温かく出迎えようと、市内にある北近畿タンゴ鉄道の六駅(丹後大宮・峰山・網野・木津温泉・丹後神野・久美浜)の構内にある「観光案内看板」を、このたび一新しました。

案内看板は、高さ九〇センチ、横一二〇センチの強化プラスチック製。「古代『丹後王国』史跡・名所・観光案内」として各駅ごとに、近辺の史跡や名所、

観光地を七か所ずつ紹介しています。

完成を祝い、八月九日に丹後大宮駅で「除幕式」を行い、荒田助役が「京丹後市の歴史・文化は大きなブランドです。環境や歴史、文化などが調和したまちづくりの推進にこれからも努めていきます」とあいさつ。早速、海水浴客やお盆で帰省するかたを温かく出迎えました。

京丹後市の文化財 四

大宮町

大宮売神社石燈籠

(おおみやめじんじや いしとうろう)

大宮売神社は、平安時代の「延喜式(えんぎしき)」という書物に名前のある古い神社です。

神社のある場所は、古墳時代中期(約一五〇〇年前)にお祭りが行われていた祭祀遺跡(さいしいせき)があったことがわかっています。祭祀遺跡が、神社へと発展した点

は、この神社の性格を考えると、大宮売神・若宮売(わかみやめ)神です。

この神社は、長祿二年(一四五九年)の「丹後国惣田数帳」に、「御神領」として周知郷の約半分を所領としています。神社所領の記録は、鎌倉時代前期(約八〇〇年前)にさかのぼり、古代から地元の有力な神社として存在したようです。



大宮売神社 石燈籠(国重要文化財)

また、現在は、流出していますが、「周知宮」、「承安四年 甲午(一一七四年)三月三日 鑄之」という銘をもつ青銅製の孔雀文磬(くじゃくもんけい)があったことがわかっています。

磬(けい)は、仏教法具の一つであり、神社にあったことを不思議に思われるかもしれませんが、仮に神の姿となって現れるという信仰があり、神社に僧侶がいてお経を唱えたりすることは一般的でした。これは、神仏習合(しんぶつしゅうごう)と呼ばれ、大宮売神社でも鎌倉時代には、神仏習合が行われていた証拠といえます。

現在、境内には、国の重要文化財となっている石燈籠が二基あります。向かって右側のもの(写真)は、高さ二六六・六センチ、左側のものは二五九・四センチ。右側のものには、摩滅してしまい読みにくくなっています。徳治二年(一一三〇七年)の銘文があります。二基ありますが、石燈籠の細かい型式を見ると、同時期のものではないとされています。そのため大宮売神・若宮売神二座にそれぞれ別の時期に献納されたものと推定されています。

丹後地域に現在残っている石燈籠の中では最も古いもので、また大変貴重なものであることから、昭和三十七年(一九六二年)に国の重要文化財に指定されました。

市立図書館 ご案内

弥栄図書室

京丹後市立弥栄図書室になり、はや5か月。利用者みなさんにも休館日・開館時間の変更慣れていただき、それに伴い図書の利用冊数も増えてきました。

4月から幼児・児童向け雑誌の定期購入を始めました。また、現在、小学生を対象とした「お話を絵にするコンクール」の選定図書コーナーを設けています。好きな本を読んで、感じたこと・思ったことを絵に描いて応募してください。締め切りは、10月29日(金)です。応募方法など詳しくは、職員にお尋ねください。

引き続き「読み聞かせ」のボランティアを募集しています。「読み聞かせ」に関心のあるかたを、お待ちしております。

峰山図書館

恒例の「夏休み読書子ども会」を、7月29日に峰山地域公民館で開催しました。

峰山町内の小学生が、読書に関する感想や体験を発表したり、手づくり紙芝居の上演や、わが家の「親子読書」などについて発表。

続いて、ボランティアによる大型絵本・大型紙芝居の読み聞かせなどで楽しみました。

これを契機として、子どもの読書への関心がさらに広がることを願っています。



あみの図書館

あみの図書館では、7月18日に恒例の「夏のおはなし会」を開催。

当日は、「あみの読み聞かせボランティア」のかたを中心に、英語絵本の読み聞かせやパネルシアター、ストーリーテリング、エプロンシアター、光る紙芝居のほか、手品もあり、会場いっぱいの約180人が楽しいひと時を過ごしました。



おすすめの本

『人生百年私の工夫』 日野原 重明 著 (幻冬舎)

自分では、若いと思っていても老いはだれにでも忍び寄ってきます。

生きることは苦しいけれども、生き方を工夫すれば、生きることを楽しみに変えることもできます。

21世紀は「人生100年」の時代。クヨクヨしたときは、とにかく歩く。その週にたまった疲れは、その週にとる。

子どもに見返りを求めず、生きがいをさがす…。92歳の現役医師「生き方上手」が贈る、しあわせの処方箋。

本書を所蔵している館
峰山図書館・あみの図書館
大宮図書室・丹後図書室

利用者の声

「図書館と私」 下田結さん(峰山町新町)

私が、図書館に行き始めたのは1歳のころで、読書好きの母に連れられ、読み聞かせに行ったのが最初だったそうです。もちろん私は覚えていませんが、そのころからずっと通っているので、ずいぶん長い間お世話になっています。小さいころ、絵本や紙芝居の読み聞かせが大好きで、図書館から借りてきた本を寝る前に母に読んでもらうことが楽しみでした。今でも寝る前に本を読んでいます。私にとって本を読むことは、出会いと経験です。自分の知らない世界と出会い、さまざまな経験を積むことができます。そして現実に戻っても、本の中での出会いや経験は生きてきます。

図書館は、出会いの場です。今後も、多くの出会いを求めて図書館を利用させていただきます。そして、その出会いをいつまでも大切にしたいと思います。

京丹後の夏を彩る



光の祭典に酔いしれる

久美浜町恒例の「千日会観光祭」(久美浜町観光協会主催)が、八月の八日・九日の両日、浜公園一帯で繰り広げられ、熱気に包まれました。
祭りは、この日に参拝すると、千日分のご利益があるといわれる如意寺(久美浜町)の本尊をおまつりするものです。
八日には、久美浜湾で「千日会ドラゴンカーヌー選手権大会」(十五頁に掲載)を開催。
また、九日は、同町一区で久美浜小学校・久美浜中学校・高龍中学校・久美浜高等学校による「鼓笛隊とブラスバンドの行進」や熊野郡防犯協会による「安心・安全パレード」などが華やかに行進。また、午後七時三十分からは、かぶと山の「大文字」の火入れとともに、四千個の燈籠(とうろう)流しや八百発の花火大会が催され、来場者は光の祭典に目を奪われました。

千日会観光祭

この四月に新たに設立された大宮町観光協会主催により、八月七日に「京丹後市大宮映画祭」が催され、来場者は手づくりの映画祭に胸を躍らせました。
映画祭は、「記憶に残るイベントの開催を」との思いで、昭和六十三年に「タンゴ大宮映画祭」として始まったもので、今年で十六回目を迎えました。
第一部として午前九時からは、アグリセンター大宮を会場に、冒険ファンタジー「ファイティング・ニモ」と「ヒーターパン2」を上映。開場前から多くの親子連れが並ぶなど約四百人が、感動の話題作を楽しみました。
また、夕刻からは、第二部として大宮庁舎前で「ラストサムライ」を上演。来場者は、高さ十尺、幅二十尺の特大大スクリーンに映し出される迫力ある映像を、片時も逃さぬように見入っていました。

巨大スクリーンで感動ひとしお

京丹後市大宮映画祭



暑さを吹き飛ばす 熱気みなぎる

フェスタ『飛天』2004 in 京丹後



平成四年に、「自らの手でまちおこしを」との熱い思いで始まった「飛天」。今年は「フェスタ『飛天』二〇〇四 in 京丹後」と名前も新たに、さらにパワーアップした真夏の祭典として、八月一日、峰山総合公園(峰山町荒山)を会場に開催され、市内外から約二万八千人が訪れました。
「羽衣・七夕伝説」をテーマとした「飛天」は、市民の願いが込められた短冊で彩られた「七夕かざり」が来場者を温かく迎え入れ、昼間はさまざまな露店や「プール」、「ふあふあ」など子どもたちの楽園として盛り上がりました。
また、夕刻からは、京阪神のよさこいチームが集った「YO・SA・KO・I SUMMER NIGHT」や「原田伸郎羽衣コンサート」、「追手門学院大学チアリーディング」、和太鼓集団「飛龍天衆」などの迫力あるステージが、見ているものに元気を与えてくれました。

京丹後の夏を彩る

京丹後の夏を彩る

まつり

イベント

華やか

「福」を願い宝船巡行



間人みなと祭

豊漁や安全を祈願する「間人みなと祭」が、七月二十五日に丹後町の間人漁港一帯で行われ、「宝船の巡行」や「花火大会」などに歓喜の声が上がっていました。
「間人みなと祭」は、弁財天に豊漁を祈る漁師の祭礼として始まり、昭和二十五年の間人町制三十周年を記念して地域あげての祭となりました。
名物の宝船に見立てた山車「梵天丸(ぼんでんまる)」には、七福神にふんじた小学四年生や中山市長、田茂井市議会議長、浅田市議会議長などが乗り込み、午後三時三十分に出発。間人小学校の鼓笛隊と勇壮な間人太鼓を先導に、約二キロのコースを紅白もちやお菓子などの「福」をまきながら巡行しました。
また、午後八時三十分からは、スターメインなど約六百発の花火が夜空に打ち上げられ、浜辺は幻想的な雰囲気になりました。

岸へ到着し、大勢の見物客が見守る中、担ぎ手が胸まで海につかりながら海上渡御が行われると、大きな歓声が上がりました。
夕刻からは、八丁浜に設けられた特設ステージで、浦島太鼓の演奏や、網野町・峰山町・久美浜町のよさこいグループの演舞、宝塚歌劇団のOB「エスプリ・ドウ・タカラヅカ」による華麗なステージが観客を魅了。また、「夜の竜宮城」と題した「納涼大花火大会」では、一千発の花火が夏の夜空を大輪の花で埋め尽くしました。

勇壮に海上渡御



浅茂川水無月祭

網野町浅茂川の水無月祭(同区主催)が、七月三十日に浅茂川海岸一帯で開かれ、勇壮な「みこし」の巡行や「花火大会」などで大いに盛り上がりしました。
午後一時三十分、日吉神社を出発した「みこし」は、威勢のよい掛け声を上げながら約二時間をかけ町内を巡行。午後三時過ぎに八丁浜海

弥栄町観光協会の主催で「やさか納涼祭」が、七月十八日に水辺公園やさか野広場(弥栄町溝谷)で開かれ、約八千人の家族連れなどにぎわいました。
祭は、午後五時に黒部小学校(秋山敬二校長・八十三人)の児童三十九人による鼓笛隊の華やかなパレードで開幕。会場には、たこ焼きや焼き鳥、生ビールなどの露店が軒を連ねて祭り気分を盛り上げるとともに、特設ステージ上では「仮面ライダーブレイド」ショーやビンゴゲーム大会、交通安全クイズ大会などが催され、元気な子どもたちの声が響き渡りました。
また、午後九時から始まった「花火大会」では、七百発の花火が夜空に美しい光の華を描き、訪れた人から歓声と拍手が贈られました。

子どもたちの元気な声響く

やさか納涼祭



京丹後の夏を彩る

ゆかた姿で「粋」な一夜

十回目を迎えた「ゆかたまつり」(網野町商工会青年部主催)が、八月七日に網野体育センター横の多目的広場で開かれ、色とりどりの「ゆかた」で納涼のひとときを楽しみました。

まつりは、和装の振興や観光PRなどを目的に毎年開催。町内の企業や商店に「ゆかた」姿での営業を呼びかけるなど、町中が華やかな雰囲気になりました。

まつり会場には、「ゆかた」や甚平をまとった家族連れが来場。「小浜おどり」や「浅茂川おどり」、「網野おどり」などの地区の踊りが華やかに繰り広げられました。



ゆかたまつり

文化を ころろ豊かな 暮らしの中へ ◆ みねやま夏の文化祭 ステージバラエティ



夏の夜を華やかな舞台で彩る「みねやま夏の文化祭ステージバラエティ」が、七月二十四日に京都府丹後文化会館(峰山町杉谷)で開かれ、約五百五十人の観客を魅了しました。

この催しは、峰山町文化団体協議会(会長・今中義和さん・四十七団体)と峰山地域公民館の共催により、「文化をころろ豊かに暮らしの中へ」を合い言葉に、毎年七月下旬に開催。

琴や詩吟、三味線、太極拳、3B体操、エレクトーン、ピアノなど、日本古来の音楽から現代の音楽まで、バラエティに富んだ十五団体・約二百人による華麗なステージが次々と繰り広げられ、来場者を楽しませました。

地域あげての祭りに心躍らせる

九回目を迎えた「すいすいビーチカーニバル」(小天桥観光協会主催)が、八月四日に小天桥海水浴場駐車場が開かれ、海水浴客など多くの親子連れが夏の一夜を楽しみました。

午後六時から始まった祭では、「宝さがし」や「スイカ割り」に子どもたちの元気な声が響き、特設ステージで「よさこい踊り」や「久美の浜太鼓」などが次々と披露されると、会場は大きな拍手で包まれました。

また、数年前に途絶え、昨年、久美浜町の民宿や旅館の女性経営者でつくる「若おかみ会」(座長・村岡真紀さん・久美浜町湊宮)が復活させた「小天桥踊り」も披露されるなど、地域あげての祭りをたん能しました。



すいすいビーチカーニバル

ここにご紹介したほかにも、各地域で「元気印『京丹後』」を象徴する、さまざまな「祭」・「イベント」が繰り広げられ、「京丹後の暑い夏をさらに熱く」盛り上げました。

人口のうごき

男	31,787人
女	34,466人
計	66,253人
世帯数	21,965
(8月1日現在)	

発行/京丹後市役所 編集/秘書広報課
 〒627-8567 京都府京丹後市峰山町杉谷889
 ☎0772-69-0001 FAX0772-69-0901
 ホームページ <http://www.city.kyotango.kyoto.jp>
 E-mail hishokoho@city.kyotango.kyoto.jp